



素足で歩けるビーチを目指して ビーチクリーンキャラバン

7月3日、象潟海水浴場で7年続けてのビーチクリーンキャラバンが開催されました。海開きやトリアスロンを目前に控え、秋田県Honda会や象潟小5年生など約350人がボランティアとして参加。本田技研工業㈱の技術と参加者の想いがひとつになり清掃作業に取り組んだ結果、今年も素足で歩けるクリーンな砂浜の快水浴場が誕生しました。



▲砂の上では四輪バギーが大活躍！

よみがえる校歌 思い出の校歌を歌おう

6月30日、スマイルで思い出の校歌を歌おうが開催され、市内の閉校となった11校の卒業生93人が集いました。今は歌われる機会がなくなった閉校の校歌を、卒業生らはエピソードを紹介するとともに合唱し親睦を深めました。当時を思い出し涙ぐむ場面も。かけがえのない校歌はこれからも歌い継がれていきます。



▲当時の写真を見ながら合唱する参加者

賑わいを見せる平沢地区の商店街 100縁商店街

6月22日、平沢地区全域で平沢ぶらり商店街振興会による100縁商店街が開催されました。今年で5回目になり、年々趣向を凝らしたお店が増え、たくさんのお客さんで行列が出来るほどの賑わいを見せる100縁商店街。心配された天気は終了と同時にどしゃ降りになり、お客さんの笑顔と商店街の団結力にお空も協力してくれたようでした。



▲100円で文房具等をつかみ取り！なにが取れるかな♪

更なる飛躍を期待 リキシャTOHOKUトラバース

6月19日、人力車を一人で引いて東北を一周する「リキシャTOHOKUトラバース」に挑戦している阿部雅龍さんが来庁しました。阿部さんは今年1月に単独徒歩による南極点到達を果たしたばかり。この日は、地元の中学生をはじめ多くの住民らが阿部さんを盛大に出迎え、激励しました。「夢を追う男」阿部雅龍さんの挑戦はまだまだ続きます。



▲市役所(象潟庁舎)到着時の阿部さん。カッコイイ♡

大相撲さながらに！ 仁賀保・齋藤神社祭典 奉納相撲大会

7月12日、仁賀保体育館を会場に今年で137年目となる仁賀保・齋藤神社祭典奉納相撲大会が行われました。認定こども園仁賀保の園児たちによる可愛いチビッコ相撲に次いで、平沢・院内小学校4年生から6年生が本気でぶつかりあいました。大盛り上がりの中では大相撲さながらに、勝った児童が負けた児童に手を伸ばし起こす姿も見られました。



▲のこった！のこった～！勝負の行方は…

みんなで風力発電の未来を考える 風力発電にかかるゾーニング事業説明会

7月6日、総合福祉交流センタースマイルで風力発電にかかるゾーニング事業説明会が行われ、市内外から約40人が参加しました。第1部の説明会に続き、第2部の小グループごとのワークショップでは、さまざまな立場の方が意見を出し合い活発な意見交換が行われました。この結果はにかほ市内に風車を設置する際の基準などに活用されます。



▲ワークショップで意見交換をする参加者の皆さん

雨にも負けず…

第6回鳥海山ブルーラインヒルクライム in 日本海

6月22日、23日の2日間にかけて、遊佐町とにかほ市を会場に第6回鳥海山ブルーラインヒルクライム in 日本海が開催されました。初日の遊佐ステージは雷雨により途中で中止となるも、2日目のにかほステージは小雨ながらも決行。日本海から鳥海山5合目鉾立へと駆け上がる頃、ようやく青空が広がり、見事97人のチャレンジャーが完走しました。



▲雨の中、地元の声援が選手を盛り上げる（小滝）

2万本の花苗を植栽 花いっぱい運動

6月22日、23日の両日、市内の国道7号線花壇で夏花の植栽が行われ、市民ボランティアの皆さんなど約100人が参加しました。国道7号線花壇の多くは長い間未整備でしたが、このたび市内の風力など再生可能エネルギー発電施設の運営事業者が拠出した協力金を活用し、「花いっぱい運動」として整備を行いました。



▲地元の花弁農家が育てたジニアなどを植栽